

Press Release

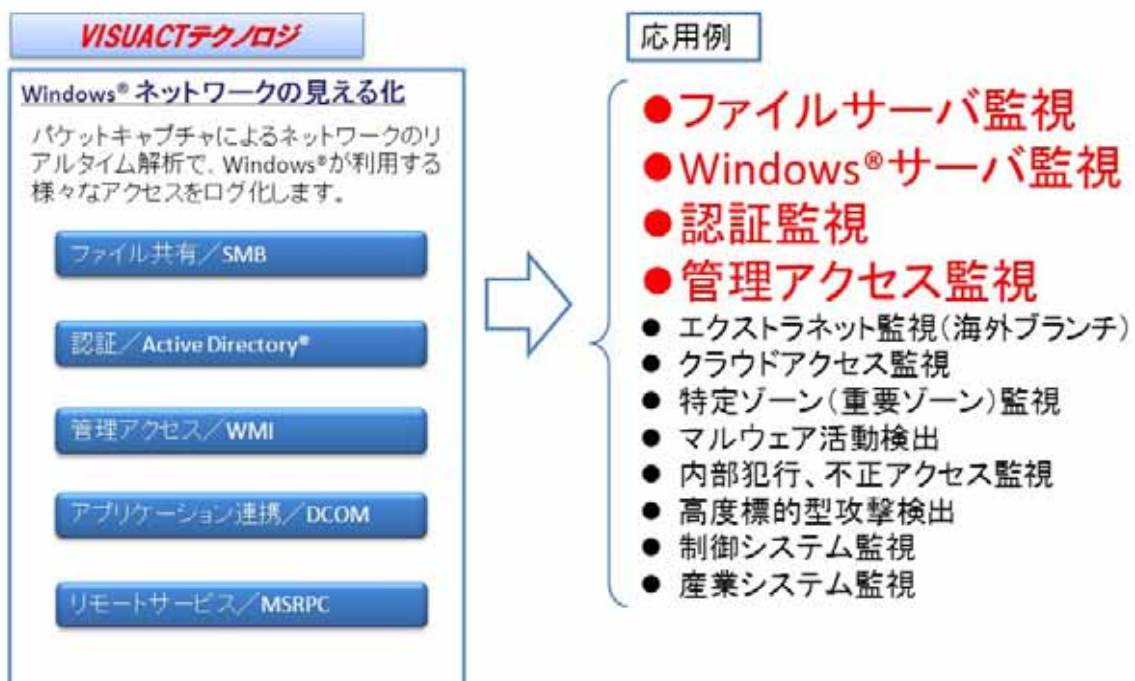
アズビルセキュリティフライデー、 Windows ネットワークを見える化するネットワークセンサ「VISUACT3」をリリース

azbil グループのアズビルセキュリティフライデー株式会社(本社：神奈川県藤沢市藤沢 89-1 社長：佐内大司)は、サイバーセキュリティ時代の CSR 経営において必要不可欠となる“企業の内部ネットワークの見える化”を実現するネットワークセンサ「VISUACT™3 (ビジュアクトスリー)」を2014年11月25日に販売開始いたします。

サイバー攻撃がより高度化し、攻撃の発見や対策がますます困難になっていく中で、企業のセキュリティ対策は SIEM (Security Information and Event Management) に代表されるような統合監視モデルへと変化しています。統合監視モデルを実現する上で、重要でありながら今まで監視することができなかったのが、Windows®ネットワークです。当社は2003年の創業以来、Windows ネットワークの見える化に取り組み、その技術を製品化した「VISUACT シリーズ」は、情報漏洩対策ソリューションとして、多くの企業のファイルサーバ監視に採用されています。今回リリースする「VISUACT3」は、従来のファイルサーバの監視だけでなく、管理アクセス、認証、不正アクセスなど見える化の対象を拡大し、将来のセキュリティ統合監視に欠かせない重要なネットワークセンサへと機能拡張しました。

< 概要 >

企業内の IT ネットワークを監視し、リアルタイム解析することで、Windows ネットワークの見える化を実現します。



< 特長 >

簡単導入：

現状のシステムへの悪影響がなく、安心して簡単に導入できる。

権限分離：

サーバ管理者などの特権ユーザの管理管轄外で、証跡性の高い記録が残せる。

証跡性：

サーバ内部ログは改竄される可能性があるが、ネットワークの改竄は難しく、証跡性の高い記録が残せる。

汎用性：

テキスト形式なので、ほとんどの SIEM やログ解析システムで利用できる。

全パケットログの約 1/1000 サイズのテキストログなので、長期間のログ保存が可能になる。

< 販売価格 >

ソフトウェア・ライセンス 100 万円～

サイバーセキュリティが国家の重点戦略と位置づけられ、サイバーセキュリティ基本法や個人情報保護法の改正など法的な整備が進んで行く中で、企業の CSR 経営には、長期的かつ本質的なセキュリティ対策が求められています。また、企業内でサイバーインシデントが発生した場合の速やかな情報の開示も義務化されていきます。「VISUACT3」は、企業内のネットワークの見える化技術によって、お客さまの CSR 経営を支援し、社会に安心と安全を提供していきます。

当社は azbil グループの掲げる「人を中心としたオートメーション」の発想で、IT 社会における様々な問題に、独自の高度な技術で取り組んでまいります。

VISUACT は、アズビル株式会社の商標です。

Active Directory, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

株式会社 山武 は アズビル株式会社 へ社名を変更いたしました。

読者からのお問い合わせ先：

アズビルセキュリティフライデー株式会社 営業部

電話：0466-26-5666 担当：内田 sales@securityfriday.com

報道関係者からのお問い合わせ先：

アズビル株式会社 経営企画部 広報グループ 電話：03-6810-1006 担当：小貝 / 原 publicity@azbil.com